

水際線とまちのつながりの強化



「水際線からまち」へ、「まちから水際線」へと更なる人の流れを生み出していくために、
「主要な鉄道駅」と「水際線」を結ぶ環境づくりなどを行います。



画像 ©2025 Google、地図データ ©2025

横浜駅 ↔ 臨港パーク



①横浜駅東口駅前広場

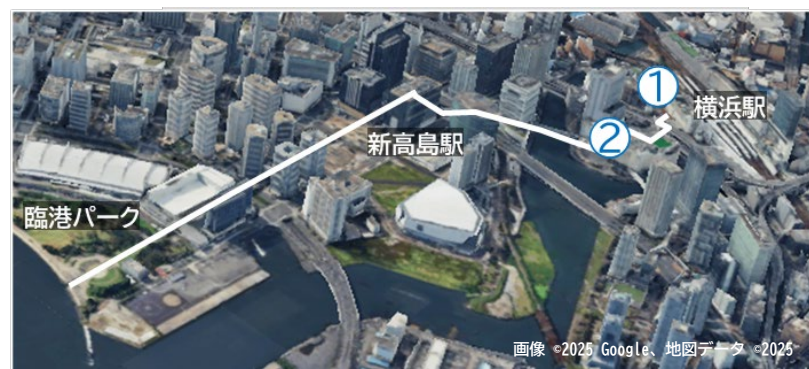


水際線の玄関口としての魅力的な空間の創出

②はまテラス（横浜駅東口）



水際線へとつながる日常的なにぎわい空間の創出

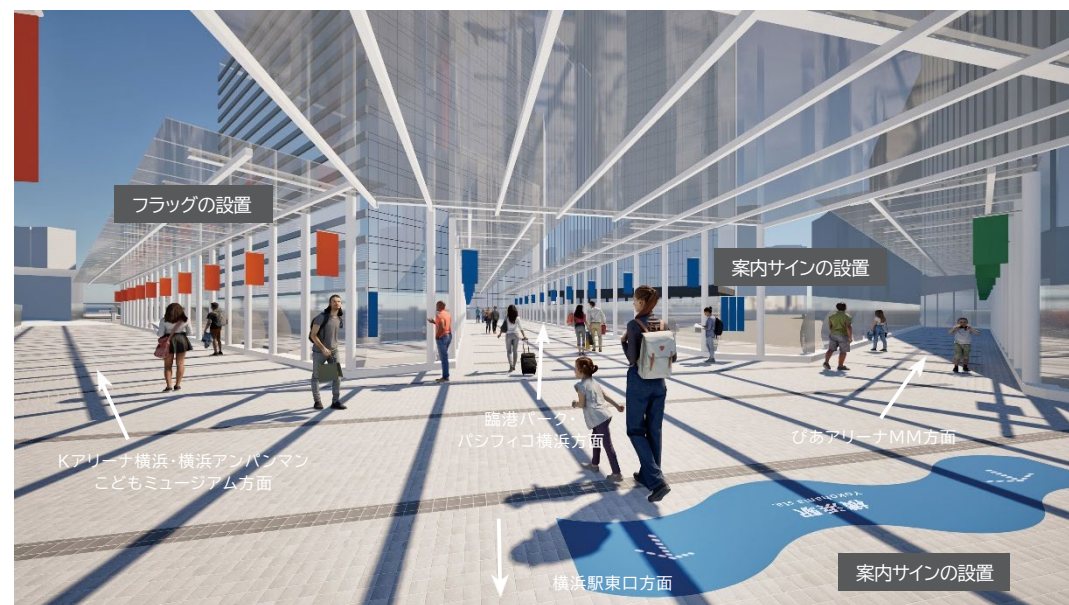


横浜駅 ↔ 臨港パーク

③みなとみらい歩道橋（新高島駅周辺）



水際線へと誘う連続した空間の創出



水際線へと誘う環境づくり

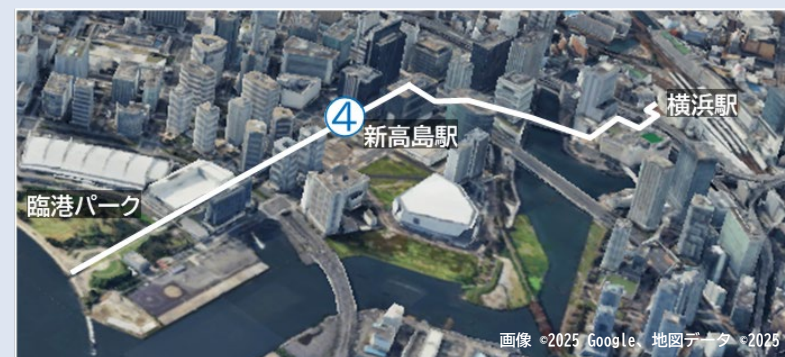


移動を楽しむ環境づくり



水際線へと誘う軸線 ～キング軸～

新高島駅周辺から臨港パークへとつながる「キング軸」（一部区間整備中）では、多くの来街者を水際線へと誘うため、グリーン空間やファニチャーなど滞在空間を整備するとともに、案内サインや連続性のある照明やフラッグなどにより、臨港パークへのつながりを演出していきます。



④キング軸（横浜シンフォステージ前）



みなとみらい駅 ↔ 臨港パーク

①パシフィコ横浜（プラザ広場）



水際線へと誘う環境づくり

②ぶかりさん橋周辺



海の眺望や花と緑を楽しむのにぎわい空間へとリニューアル



移動を楽しむ環境づくり

にぎわいと緑の軸線



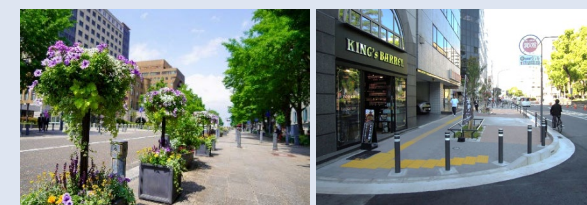
水際線と関内駅周辺のまちづくりにより生まれるにぎわいを軸線でつなぐことで、関内・関外地区の活性化を図っていきます。

象の鼻パークから日本大通り、みなと大通り、横浜公園、大通り公園を経て時田公園までの区間を「にぎわいと緑の軸線」として位置付けます。

イルミネーションやグリーン空間、案内サイン・フラッグなどの人々を誘う仕掛けづくりや集客イベントなどにより、水際線からまちへ、まちから水際線へと人の流れを生み出していきます。

①日本大通り・みなと大通り

歩きやすい歩行者空間や、緑と花で彩られた居心地の良い空間を創出するとともに、道路等の公共空間を積極的に活用したオープンカフェや集客イベント等を実施することで、にぎわいと緑あふれる軸線として機能強化していきます。



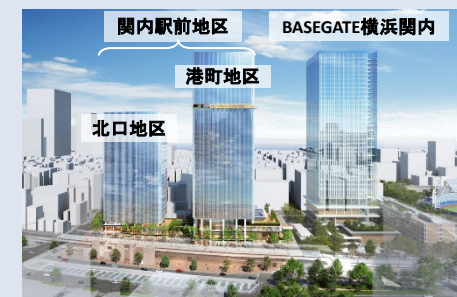
日本大通り

みなと大通り

②関内駅周辺の開発

関内駅周辺では、オフィスや観光・エンタメ施設などの整備（※）が進められており、多くの人や企業が集まる拠点が生まれます。こうした駅前の拠点整備に合わせて、ウォーカブルな歩行者空間や回遊を促す歩行者デッキの整備を行うなど、まちなかと水際線をつなぐ取組を促進していきます。

※「BASEGATE横浜関内」は、令和8年3月開業予定
「関内駅前地区」は、令和12年度以降供用開始予定
提供：関内駅前港町地区市街地再開発組合／
関内駅前北口地区市街地再開発組合



※今後計画変更の可能性があります。

③大通り公園（リニューアル）

にぎわいと交流を生み出す飲食機能や、花や緑を楽しめる滞在空間、子どもの遊び場などを整備し、多彩なイベントが開催される公園として全面的にリニューアルしていきます。
関外エリアの拠点を新たに生み出すことで、関内と関外をつなぐにぎわいの結節点としての役割を強化していきます。



※今後の設計等により変更となる場合があります。

結節点サイン・矢羽根サイン



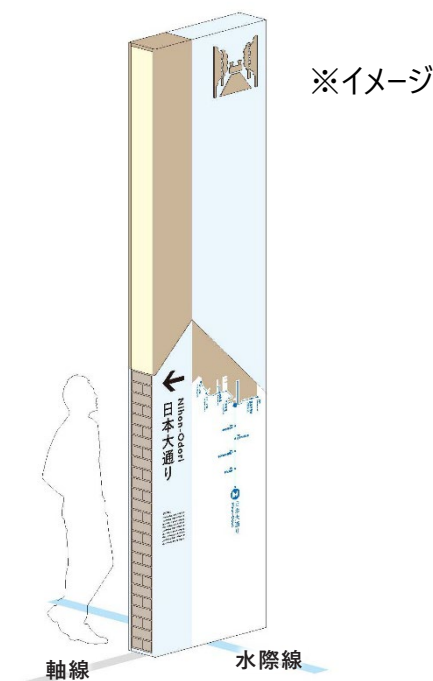
画像 ©2025 Google、地図データ ©2025

結節点サイン

水際線と、まちをつなぐ軸線が交差する地点にシンボルとなるサインを設置することで、水際線からまちなかへの回遊を促していきます。

結節点サイン設置箇所

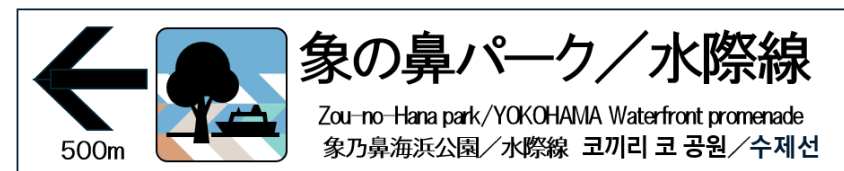
- | | |
|------------|------------|
| 1. 臨港パーク | 4. 赤レンガパーク |
| 2. パシフィコ横浜 | 5. 象の鼻パーク |
| 3. ハンマーヘッド | 6. 山下公園① |
| | 7. 山下公園② |



矢羽根サイン

道路等に設置されている公共サインに新たに水際線の案内を追加することで、まちなかと水際線の回遊を促していきます。

※イメージ



水際線と主要な鉄道駅やまちをつなぐ軸線

1. 臨港パーク～横浜駅（キング軸）
2. 臨港パーク～桜木町駅（クイン軸）
3. カップヌードルミュージアムパーク～関内駅
4. 赤レンガパーク～桜木町駅
5. 象の鼻パーク～関内駅
6. 山下公園～中華街
7. 山下公園～元町～石川町駅